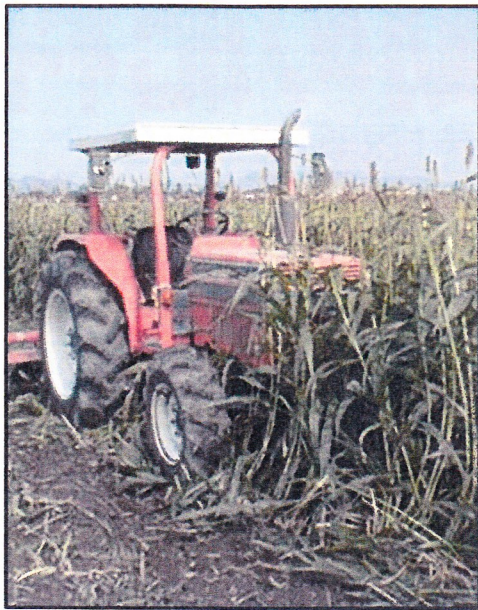


低コストな土づくりは、緑肥＋発酵鶏ふんの活用！

◆ソルゴー（イネ科の緑肥）



- ・ 次の作物予定：野菜（イネ科以外）、キクなど
- ・ 主な効果：土の腐植（有機物）が増加。
- ・ 種まきの量：300坪あたり3～4kg程度
- ・ 播種後2～3ヶ月でスキ込み（穂が出る前に）

次回作まで畑が3ヶ月空くなら緑肥栽培！

※栽培2ヶ月 + スキ込み1ヶ月＝3ヶ月

ソルゴーのスキ込みは、

堆肥に換算すると、2トン～3トン投入(300坪)とほぼ同じ。

※ソルゴー1000～1500kg(乾物) →堆肥換算(水分50%)で2000～3000kg

◆◆◆ お勧めの発酵鶏ふん ◆◆◆

海邦有機

かいほう ゆうき

黒潮有機

くろしお ゆうき

豊作有機

ほうさく ゆうき



どこんじょうまる

《緑肥スキ込みでの使い方》

- 緑肥のスキ込みは、次の作物の作付(種まき、定植)30日前までに行ってください。
- その際に発酵鶏ふんを 300坪あたり10～20袋程度、一緒にスキ込みします。
- この発酵鶏ふんのスキ込みは、緑肥(ソルゴー)の堆肥化を促進するためのものです。
※ソルゴーだけをスキ込みした場合、堆肥化(腐熟)が進まないことがあります。
発酵鶏ふんを同時にスキ込むことで、微生物の活力を高めて充実した土づくりが期待できます。
- 基肥は、通常通り行ってください。(有機ペレット685、ハイパーCDU566など)